

童話「魔女ニニー」



20230405



エリー



目次

本文	1
添削とエーススプレッド	3

本文

ねえねえ。

王子さまに見初められてたのに、舞踏会に行かなかった魔女ってどんな女の子だったとおもう？

名前はニニー。

世界一有名な魔法使いマグノリアの孫で、エルメダーラ王国の魔法宮の最高責任者である魔法使いゲウムの養女。

天才の遺伝子を受け継いだニニーは、とても優秀で情熱的。

できる努力はすべてして、なお工夫する。

決してあきらめず、手を抜かず、約束の時間を過ぎても夢中で取り組む。

ニニーの頭の中には最高の完成形がある。絶対的な到達点がある。

でも周りのみんなには見えないから、なかなかオッケーと言ってくれないことに疲れはててしまう。

そして一人、また一人とニニーの元を去り、気がついたらひとりぼっちになっていた。

問題点に気づいていた養父である魔法使いゲウムは、なんとニニーを幼児の世話に合わせたの。

ニニーがどんなに賢く判断力があっても、幼い子どもにはまるで通じない。

何が気に入らないのか、泣きわめいて叩いてくる。

ゲウムはニニーに気づいてほしかった。

いくら自分が正しくても、間違っている相手の立場まで降りて行って、そこから正しい道のを伝えないと、相手は動くことができないことを。

「それは間違ってる」

結論だけ伝えても、ニニーが考える正しさにはたどり着けない。

でもニニーは自分の感覚を信じていたから、間違っている相手の話を聞く気になれない。

泣きながら叩く幼児に「やめて」といってもやめてくれず、どうしてこんなところに送られたのかも分からず、我慢が限界をこえて涙が勝手に溢れてきた。

生まれて初めて我を忘れて大きな声でぼろぼろ泣いた。
すると泣いて叩いていた幼児が言う。
「あなたもおうちに帰りたいの？」
そしてなでなで、ムギューとする。

何が起きたのか、言葉でハッキリ理解した訳ではない。
それでもニニーの中で何かが弾けた。
「そうだよ。おうちに帰りたいよ。本当のお母さんに会いたい」

あの日、みんなをビックリさせたくて、おじであるゲウムの方きに乗って空を飛んだから魔女になってしまった。
ただ笑ってニニーの話を聞いてくれた母から離れて、最高を目指してきた。
自分の感性が間違っているとは思わないが、やり方を間違えたのだ。
母のように話を聞けば良かった。

元の魔法宮に戻ったニニーは、遠い目標を示しつつ、相手にできる「最初の一步」を言う努力をしました。
そして辺境の貧しい山奥の村を生まれ変わらせ、教育改革の指導者になりました。

王子バナラは、塔から落ちて地面すれすれでほうきに飛び乗り、空高く舞い上がり、魔法使い試験に合格したニニーに憧れました。
王妃クミンとともにニニーを陰ながら応援してきました。
辺境の村で長い間過ごしたニニーは、取り組みを全国に広めるために王都に戻ります。

そして魔女ニニーは王バナラの右腕として国を繁栄に導きました。

おしまい。

添削とエーススプレッド

●娘の感想

童話になってない。

言いたいことをダイジェストでまとめただけ。

最初の問いかけが長すぎる。

大半のひとは覚えてられない。

3つぐらいに文を分けて。

最初の問いかけが、バナラからみたニニーの視点になっている。

ニニーの視点じゃない。

伝えること。

隠しておいた方が面白いこと。

意識してかきわけて。

TRPG とのつながりがわからない。

もっと漫画のセリフみたいに、引っ掛からずに頭にすっと入る文にして！

●感想を聞いたエリーの気持ち

昔は、何を言われてるのかちんぷんかんぷんだったけども、おぼろげに問題点を理解できるようになった！

参考資料を読んでがんばります！

●占い

あとがきつけて記録として残しておく？

エーススプレッド

過去はワンドエース R で、ひとつの挑戦が終わった。

今はカップ 10N で充実した運氣。指摘されたことがわかるようになったから？

未来は力 8N で欠点や弱さを克服する。

童話「魔女ニニー」20230405

著 ELYE

制作 Puboo
発行所 デザインエッグ株式会社
